

北のスポボラ

スポーツをする楽しみ
見る楽しみ
支える楽しみ

発行 / 認定NPO法人 ランナーズサポート北海道

ランナーいやす沼田町の雪 前田森林公園 サポートエリア 雪玉、雪柱6トン

スポーツ雪合戦の雪玉製造機が活躍



身体を寄せるとひやりとした冷気が



ランナーに大好評の雪玉提供

ゆきと共生するまち・空知管内沼田町から運ばれてきた雪が、暑さと闘う北海道マラソンのランナーに好評です。新川通の折り返しに近い24.8km地点付近、前田森林公園に設けられたランナーサポートエリアには、2025大会も沼田町から6トンの雪が運び込まれました。

同エリアを担当する札幌新陽高校のボランティアが、スポーツ雪合戦で使う雪玉製造機を使って、テニスボール大の雪玉を懸命に製作します。受け取ったランナーは火照った顔や体に押し当てて、ひと時の涼に大満足。大きな雪玉ブロックもエリア内に置かれ、足を止めて手を押し付けていました。

また2025大会から28.2kmの水かぶりポイントにも4トンが提供され、かぶり水の冷却に使われました。

豪雪地帯の同町は2002年に雪と共生する町づくりを目指す「輝け雪の町宣言」をしていて、町内には5000トン規模の雪を被覆材で覆って夏まで保存する雪山センターを稼働していて、米貯蔵センターや老人ホーム、生涯学習センターなど町内の施設での雪冷房が行われています。

- | | | |
|----|--------------------------|---|
| | 秋に障がい者スポーツのイベント盛ん | ② |
| 目次 | 大通公園でブルーウォーク | ③ |
| | 健康の雑学 アレルギーはいま | ③ |
| | オンラインでつながる
スポーツボランティア | ④ |